

## 細江カトリック教会だより 4月号

〒750-0016 下関市細江町 1-9-15

☎083-222-2294

☎083-222-0970

広島教区テーマ；平和の使徒となろう

チャレンジ 新しい福音宣教 ～わたしをお使いください～

—家庭へのチャレンジ—

### 新しいいのちの喜び

今年には桜の開花に先だって復活祭をお祝いし、復活節の喜びのうちに新年度を迎えることができます。新しい学校に入学、もしくは進級なさる皆さん、また新しい職場に就職なさる皆さん、おめでとうございます。

春は異動の時期で、なつかしい人々とのお別れや、新しくこられる人々との出会いがつきものです。どこにも行かない者も、人生が過ぎゆくものであることをつくづく感じさせられます。桜の花が咲くかと思うと、やがて散っていき、嬉しいことも悲しいことも過ぎていって、それでも私たちは決して後戻りすることのできない人生の旅を先へ、先へと歩いていかなければなりません。

それはいわばエマオの弟子たち物語のようです。旅の途上で、二人の弟子が失意のうちに話しあっていたとき、復活の主がそっと近づいてきて、一緒に歩まれました。彼らは自分たちの悩みを主に打ちあけたところ、主はそれに耳を傾け、彼らにいのちの言葉を語ってくださいました。主の言葉によって彼らの心は燃えました(ルカ 24・13-35 参照)。

私たちはときには人生の旅に疲れ、仕事や人間関係にすり切れてしまいます。将来の見通しがつかず、不安になることもあります。しかし、そんな私たちに主は伴われ、私たちのつぶやきに耳を傾けてくださいます。主にすべ

てを打ち明けましょう。きっと主は、私たちにいのちの息吹きを吹きこんでくださり、新しい課題に取り組むための勇気と力を与えてくださるでしょう。

世界も教会も、いろいろな意味で過渡期にさしかかっています。あちこちで戦争とテロが頻発し、平和への道筋が見えません。教会の少子高齢化と信徒数の減少が進む中、司教不在の広島教区は未来へのヴィジョンが描けないでいます。



他方、労働教育センターの改修工事が終わり、4月10日には祝別式が行われます。昨年9月から細江教会の司祭館でにぎやかに共同生活をしておられた林神父は、高齢にもかかわらず、力を振り絞ってもう一度お引越。今年度は新しい体制でのぞまれるそうです。

長年のあいだ暁の星幼稚園と教会のために尽くされたシスター藤中とシスター辻が下関を去られ、それぞれ東村山と水戸の修道院に移られます。これまでのご奉仕、本当にありがとうございました。代わってシスター弓野が下関に赴任してこられます。よろしくお祈りします。

復活の主が私たち一人ひとりに、そして共同体に、新しいいのちの喜びと力をお与えくださいますように。

百瀬 文晃 神父

挿入画 ヴィルデンス「エマオへの道」

1640 頃

**シリーズ地区便り I****子どもと言葉遣い**

細江地区 鳥居紀子

今年度、細江地区担当になりました。仕事などで忙しくしており、充分なことが出来ないかと思いますが、よろしく願いいたします。教会便りの地区担当コーナーのテーマは、引き続き「家庭」と伺いました。

そこで、昨年12月25日から30日まで福島県へボランティアに行きました際に、出会った子どもたちの姿を紹介させて頂ければと思います。

12月26日(土)宮代仮設住宅での餅つき、27日(日)野田町教会ミサ後の交流会、28日(月)桜の聖母学院、学童保育「星の子クラブ」などで出会った子供たちです。

先ず、小学生の子供たちの言葉遣いが、非常に優れていて素晴らしいとの印象を受けました。一緒におやつや食事をしたり遊んでいる時、こちらの問いかけに対して、適切な敬語を無理なく、自然に遣いこなして返事をしてくれました。また何気ないお喋りの時でも、豊かな語彙を使いながら、気持ちの良い言葉遣いができていることを、一緒に過ごした様々な場面で実感しました。私は「今どきの小学生で、これ程質の高い言葉遣いができるなんて!」と、些かショックでした。これは、日常的にしっかりした躰けを受けていて、それが確実に身につけているからではないかと思った次第です。

忘れられないエピソードを一つ紹介します。学童保育「星の子クラブ」での午後の自由時間に、低学年の女の子たちが卓球やバドミントンをしている部屋で、5~6年生の男の子数人が、おもちゃのブロックを機関銃のように組み立てて「バンバン!バン!」などと大きな声を出し合いながら走り回っていた時、指導の先生から注意を受けてしまいました。すると、その子供たちは不貞腐れる風情もなく、本当に素直に「はい」と返事をし、改めたのです。そこに居た私にとって、それは新鮮で印象深い場面

でした。今回出会った子供たちのこれらのことは、福島の家庭での親子や家族間で、また、学校や学童保育に携わっている周囲の大人が、子供たちと真摯に向かい合っておられる証拠ではないかと感動しました。

私も長年、若い人たちの福祉専門職への養成に携わる中で、「きれいな言葉づかいが自然にできる学生と、適切な敬語が使いこなせなくて苦労している学生の違いはなんだろう」とよく考えていました。やはり、幼児期からの家庭での日常会話、また、それを取り巻く周囲の大人たちの関わりが、大きく影響するのではないかと常々思っていましたので、福島での子どもたちとの出会いは印象深いものでした。

最終日29日(火)は、南相馬市・浪江町・請戸小学校やその周辺の荒涼とした場所に立ち、どうにもやりきれない思いに陥ってしまいました。しかし、それにもまして、福島市内で、適切で美しい言葉遣いが出来る子供たちに多数出会えたこと、また、そのように子供たちを見守り育て、周囲の大人社会の健全さや堅実さを実感できたことは幸いでした。それは、大地にしっかり根を張りながら寄り添って立つ、大木と若木のようにも思え、『未来に向けた希望だ』と、心が軽くなりました。お蔭さまで、降誕祭の後にふさわしく、まさに《闇から光を》見出して帰って来ることができました。復活節を迎えた今も、この思いは色褪せていません。



**世界祈禱集会 3/4**

世界祈禱日に参加して

忘れないように、忘れない！



三村 きみえ

世界祈禱日は世界各地で同じ式文を用いて礼拝を行い、世界のキリスト者、ことにキリスト者女性と連帯する

ことが一番大切なこととされています。2016年世界祈禱日は「子どもを受け入れなさい—キューバからのメッセージ」のテーマのもと日本福音

ルーテル下関教会で開催され、総勢120名、細江教会から13名が参加しました。私達一人一人が子どもの優しさ、神の愛への希望、そしてキューバの人々を受け入れる喜びで満たされるよう祈ることができました。ペットボトルに米等を入れたマラカスを振って、礼拝堂一杯、賛美の歌が流れる会となりました。次回は彦島カトリック教会で開催予定です。



**東日本大震災祈りの集い 3/11**



**わたしたちは忘れない！**

＊大震災から、5年の月日が流れます。東日本では復興が進んでいるのでしょうか？ そのことを、私たちは見聞きし行動し見守らないといけません。

今もなお苦しんでいる方々へ、私たちの祈りが届きますようにと・・・天使幼稚園児も一緒に目を閉じて静かに祈りを捧げました。

**復活祭徹夜祭 3/26 (土)**



＊20時からの復活徹夜祭。

暗闇から・・・ろうそくの灯が復活の希望へと広がる。



＊「復活されたイエス・キリスト。生きている主を探して、行きましょう！」

林神父のお言葉より。

**受洗おめでとう！！**

コルカタのテレサ (マザー・テレサ)

加留部裕子さん

「信じー貫き  
希望し 貫き  
愛し 貫けますよう」

世界のキリスト者のプレゼントに「今の自分の心にぴったり、心にしみ、感動しました。」と、加留部さんのお話。



**新しい出発へ****暁の星幼稚園園長 Sr. 藤中和子さま**

＊「ここ細江が好きで大好きで・・・」と、何度も涙ながらに胸の内を語られたシスター藤中さまへ。長い間、お疲れさまでした。新しい出発です。東京の本部に行かれても、持ち前の明るいニコニコ顔で。いつまでも、お元気でいてください。

**三位一体の聖体宣教女会 Sr. 辻さま**

＊同時に水戸へ旅立たれます。どうか、どうぞ、お元気でね。



(私たちの子どもが幼稚園時代のこと。辻シスターが園長先生だった頃、暁の星幼稚園の坂を上ると二男は私と離れるのが寂しくなるのか、いつも何故か泣きだし、辻園長先生が抱っこしてくれていました。今も優しいお顔はあの当時も同じでした。・・・いつまでもこの光景が思い出されます。ありがとうございました。)

**行事予定**

- ＊4月10日(日) ミサ後、信徒総会  
労働教育センター改修竣工祝別式
- ＊4月12日(火) 下関ブロック委員会
- ＊4月16日(土) カ障連総会；細江

**春の講座案内**

2016年度 キリスト教入門講座

講師；百瀬文晃神父

「聖書とキリスト教の基礎知識を初歩から学びます。だれでも、いつでも参加できます」



日時；4月23日、30日

5月7日、21日、28日

6月11日、25日、7月2日

(欠席した人のためにテーブルサービスがあります)

場所；細江カトリック教会

テキスト；旧約・新約聖書(クラスでは新共同訳を使います)

参考書；百瀬文晃著

『キリストをしるために』サンパウロ

『キリストとその教会』サンパウロ

参加費；無料

**堅信準備・聖体授与の臨時の奉仕者  
集会祭儀司式者 講座のお知らせ**

聖体授与の臨時の奉仕者、集会祭儀司式者、及び堅信希望者は下記のとおり講座を開きます。

**日時** 5月22日、29日

6月 5日、12日、19日

(14:00~15:30)

**編集後記**

おわび・・・カメラからPCへ写真の取入れが悪く、皆さまへご協力いただきました。

ご迷惑をおかけしました。(K)

---